

土づくり推進フォーラム 行事アーカイブ

平成 25 年 12 月 2 日 (月) 土づくりシンポジウム.....	2
平成 25 年 7 月 30 日 (火) 土づくり推進講演会	3
平成 24 年 12 月 3 日 (月) 土づくりシンポジウム.....	4
平成 24 年 12 月 4 日 (火) 現地視察研修会.....	4
平成 24 年 7 月 25 日 (水) 土づくり推進講演会	5
平成 23 年 12 月 5 日 (月) 土づくりシンポジウム.....	6
平成 23 年 12 月 6 日 (火) 現地視察研修会.....	6
平成 23 年 7 月 29 日 (金) 土づくり推進講演会	7
平成 22 年 12 月 15 日 (水) 土づくりシンポジウム.....	8
平成 22 年 12 月 16 日 (木) 現地視察研修会.....	8
平成 22 年 7 月 30 日 (金) 土づくり推進講演会	9
平成 21 年 12 月 1 日 (火) 土づくりシンポジウム.....	10
平成 21 年 12 月 2 日 (水) 現地視察・講習会	10
平成 21 年 7 月 31 日 土づくり推進講演会.....	11
平成 20 年 11 月 25 日 土づくりシンポジウム	12
平成 20 年 11 月 26 日 現地視察研修会	12
平成 20 年 7 月 30 日 土づくり推進講演会.....	12
平成 19 年 11 月 29 日 土づくりシンポジウム	13
平成 19 年 11 月 30 日 現地視察研修会	13
平成 18 年 11 月 土づくりシンポジウム.....	14
平成 18 年 12 月 現地視察研修会	14
平成 18 年 7 月 土づくり推進講演会	15
平成 17 年 11 月 土づくりシンポジウム.....	16
平成 17 年 11 月 現地視察研修会.....	16
平成 17 年 7 月 土づくり推進講演会	17
平成 16 年 12 月 土づくりシンポジウム.....	17
平成 16 年 12 月 現地視察研修会	17

平成 25 年 12 月 2 日（月）土づくりシンポジウム

テーマ：『水稲の高温障害と品質・食味向上への対応』

(1) 「埼玉県における水稲高温障害の発生状況と対策」

埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 専門研究員 岡田 雄二 氏

(2) 「最近の食味を巡る品種や産地の動向」

新潟大学 農学部 応用生物化学科 教授 大坪 研一 氏

(3) 「つや姫の食味向上に向けた土壌・施肥管理」

山形県農業総合研究センター食の安全環境部 開発研究専門員 横山 克至 氏

(4) 「地域を挙げた売れる米づくりへの挑戦」

福井県 越前市武生地区稲作協議会 会長 上嶋 善一 氏



平成 25 年 7 月 30 日（火）土づくり推進講演会

テーマ：『最近の土壤病害、センチュウ害の診断と対策』

(1) 「最近の土壤生物性の診断と対策の動向」

片倉チッカリン株式会社 技術顧問 野口 勝憲 氏

(2) 「緑肥作物による土壤病害、センチュウ害対策」

雪印種苗株式会社 研究開発本部 宮崎研究農場長 立花 正 氏

(3) 「スイカ急性萎凋症多発地域の土壤診断と総合防除対策」

東京農業大学 生産環境化学研究室 助教 大島 宏行 氏

(4) 「野菜産地における総合的土壤病害対策の取り組み」

J A ちばみどり 営農センターそうさ 主任 大木 義郎 氏



平成 24 年 12 月 3 日（月）土づくりシンポジウム

テーマ：『農作物の品質向上と土づくり』

■ パネラーと発表内容

① 「食味・品質の良い農作物とその流通」

オイシックス株式会社 商品本部 技術開発セクションリーダー 阪下 利久 氏

② 「園地診断から明らかになった高糖度モモ園」

岡山県農林水産総合センター 環境研究室 専門研究員 山本 章吾 氏

③ 「高品質イチゴの生産への取組」

(イチゴ王国グランプリ第一回大賞(農林水産大臣賞)受賞農家)

栃木県高根沢町 イチゴ農家 荒井 崇司 氏

④ 「亜リン酸肥料と農作物の品質・収量向上」

J A 全農 肥料農薬部 技術対策課 小宮山 鉄兵 氏

平成 24 年 12 月 4 日（火）現地視察研修会

視察先：茨城県 J A つくば市谷田部産直部会（茨城県つくば市上横場 2 4 8 - 2）



平成 24 年 7 月 25 日（水）土づくり推進講演会

テーマ：『最近注目されている農業資材とその効果』

- (1) 「放射性セシウムの除染対策で注目されている資材とその効果」
東京大学名誉教授、一般財団法人日本土壌協会 会長 松本 聡 氏
- (2) 「東日本大震災による塩害農地の修復で注目されている資材とその効果」
吉野石膏株式会社 技術研究所主任 三浦 真一 氏
- (3) 「竹発酵微粉末による農作物品質向上と堆肥発酵促進」
東京大学大学院農学生命科学研究科 研究員 佐野 孝志 氏
- (4) 「機能性堆肥による農作物の健全性確保」
富士見工業株式会社 有機資源開発研究所 所長 金田 雄二 氏



平成 23 年 12 月 5 日（月）土づくりシンポジウム

テーマ：『エンドファイト活用の現状と展望』

■ パネラーと発表内容

① 「エンドファイトとは何か？ -農業生産への活用-」

茨城大学農学部 微生物生態学研究室 准教授 成沢 才彦 氏

② 「エンドファイトの多収栽培技術への応用」

(株)前川製作所技術研究所 中長期技術開発グループ 係長 伊澤 剛 氏

③ 「エンドファイトの害虫防除への活用」

(独)農研機構 中央農業総合研究センター 病害虫研究領域 主任研究員 柴 卓也 氏

④ 「土着菌根菌の利用による肥料削減」

(独)農研機構 北海道農業研究センター生産環境研究領域 主任研究員 岡 紀邦 氏

平成 23 年 12 月 6 日（火）現地視察研修会

視察先：農事組合法人 埼玉産直センター（埼玉県深谷市町田 500-1）



平成 23 年 7 月 29 日（金）土づくり推進講演会

(1) 「農業と環境をめぐる最近の動き」

農林水産省農業環境対策課長 松尾 元 氏

(2) 「農地土壌と作物の放射性物質による汚染の現状と対策」

(独)農業環境技術研究所研究 コーディネータ 谷山 一郎 氏

(3) 「放射性物質の土壌中での動態と作物への影響」

元農業環境技術研究所 環境管理部 分析法研究室長 結田 康一 氏

(4) 「塩害の影響と対策」

東京大学名誉教授、(財)日本土壌協会会長理事 松本 聡 氏

(5) 「緑肥作物等の特性と利活用法」

愛媛大学農学部 土壌肥料学分野 准教授 上野 秀人 氏



平成 22 年 12 月 15 日（水）土づくりシンポジウム

テーマ：『環境保全型農業の土づくりの課題と対応』

■ パネラーと発表内容

① 水稲を中心とした土づくりの技術的課題と今後の対応

秋田県立大学生物資源科学部 教授 金田 吉弘 氏

② 野菜を中心とした土壌の化学性・微生物性診断を通じた課題と今後の対応

片倉チッカリン株式会社 常任理事 グリーンシステム本部副本部長 野口 勝憲 氏

③ 野菜を中心とした土壌の物理性・化学性診断を通じた課題と今後の対応

(財)日本土壌協会 専務理事 猪股 敏郎 氏

④ 果樹における土壌診断等を通じた課題と今後の対応

(財)日本土壌協会 調査計画部長 梅宮 善章 氏

平成 22 年 12 月 16 日（木）現地視察研修会

視察先：

① 農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク

（J A山武郡市「有機部会」の直販組織）

平成 20 年環境保全型農業推進コンクール（有機農業の分野）農林水産大臣賞受賞

組合員 46 名 J A S 有機圃場 30 ha、特別栽培圃場 70 ha

② ワタミファーム山武農場

外食事業を営むワタミグループの直営農場で有機農業を実施

農場面積 10ha(レタス、大根、キャベツ、白菜等各種野菜)



平成 22 年 7 月 30 日（金）土づくり推進講演会

- (1) 「食料・農業・農村基本計画と環境保全型農業等の推進」
農林水産省農業環境対策課長 松尾 元 氏
- (2) 「ポリシリカ鉄凝集剤利用による浄水場発生土の水田土壌改良材としての施用効果」
東北大学大学院准教授 伊藤 豊彰 氏
- (3) 「新たな窒素肥効評価法による堆肥適正施用支援システムと機能性堆肥の製造技術」
三重県農業研究所主任研究員 村上 圭一 氏
- (4) 「土壌診断等生産管理の徹底による安全でおいしい白菜栽培への取組」
有限会社農業生産法人茨城白菜栽培組合 半田 雄志 氏
- (5) 「農園内耕畜連携による土づくりによるおいしいメロン、トマトの生産」
茨城県鉾田市新堀農園 新堀 信 氏（エコファーマー）



平成 21 年 12 月 1 日（火）土づくりシンポジウム

テーマ：『土づくり・施肥改善を通じたコスト低減をどう進めるか』

■ パネラーと発表内容

① 土壌診断と適正施肥管理

東京農業大学 生物応用化学科教授 後藤 逸男 氏

② 高窒素鶏ふん肥料の技術確立と肥料費低減の取組

三重県中央農業改良普及センター 専門技術室 食料自給課主幹 清水 秀巳 氏

③ 露地野菜の畝内部分施肥によるコスト低減

愛知県 JA 愛知みなみ 常春部会部会長 富田 信也 氏

④ 水稲のたい肥利用による適正施肥技術の確立と現地対応

茨城県農業総合センター農業研究所環境 土壌研究室長 塚本 心一郎 氏

平成 21 年 12 月 2 日（水）現地視察・講習会

視察先：農事組合法人佐原農産物供給センター

○取組内容説明 常務理事 香取 政典 氏

■ 講習会会場：香取市栗源公民館

① 土壌診断結果の見方と営農改善 (財)日本土壌協会

② 土壌診断に基づく営農改善の事例研究 (財)日本土壌協会

③ 土壌診断と施肥改善の農家取組事例 (農事組合法人)佐原農産物供給センター農家代表



平成 21 年 7 月 31 日 土づくり推進講演会

(1) 環境保全型農業を巡る新たな動きと推進

農林水産省 農業環境対策課長 別所 智博 氏

(2) 食品リサイクル堆肥を通じた農産物のループ形成

三重県津市 (株)三功 顧問 土居 伸光 氏

(3) 硝酸塩の少ない安全でおいしい野菜生産の取組

茨城県取手市 (株)M&Y シモタファーム代表取締役 霜多 増雄 氏

(4) 最近の硝酸塩濃度の低い野菜生産に関する研究成果

中央農業総合研究センター 資源循環・溶脱低減研究チーム 専門員 建部 雅子 氏

平成 20 年 11 月 25 日 土づくりシンポジウム

テーマ：『食品循環資源堆肥や肥料による農産物生産とリサイクルループ形成』

平成 19 年 12 月に改正施行された「食品リサイクル法」(農林水産省)においては食品循環資源のリサイクルループ形成が重点推進事項の一つとなっております。今回はこうした中で特に食品循環資源堆肥や肥料の利用促進と資源循環を中心に話題提供と意見交換を行いました。

<パネラー>

- ① 農林水産省総合食料局食品産業企画課 食品環境対策室課長補佐 島津 久樹 氏
- ② (株) エコス 取締役企画統括室長 三吉 敏郎 氏
- ③ 栃木県茂木町美土里館長 (農林課土づくり推進室長) 矢野 健司 氏
- ④ (財) 日本土壌協会 参与 古畑 哲氏
- ⑤ 富士見工業 (株) 有機資源開発研究所長 金田 雄二 氏

<コーディネーター>

元東京農業大学 教授 増島 博氏

平成 20 年 11 月 26 日 現地視察研修会

《千葉県下の堆肥センター等視察》

・視察先

- ◆ (株) フジコー /食品循環資源堆肥センター
- ◆ (株) アグリガイアシステム /堆肥センターと「セブンファーム富里」

平成 20 年 7 月 30 日 土づくり推進講演会

(1) 今後の環境保全型農業の展開方向

農林水産省 環境保全型農業対策室長 福田 英明 氏

(2) 身近なリン資源の発掘とその利用

(財) 日本土壌協会 会長 (東京大学名誉教授) 松本 聡 氏

(3) 下水汚泥等からのリン回収技術の現状と農業利用

(財) 日本土壌協会 参与兼営農推進部長 古畑 哲 氏

(4) カリウム過剰による障害と対策

埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 生産環境担当主任 鎌田 淳 氏

平成 19 年 11 月 29 日 土づくりシンポジウム

テーマ 『作物生産農家のニーズに沿った堆肥生産と利用推進』

平成 19 年 3 月に改訂された「家畜排せつ物の利用の促進を図るための基本方針」（農林水産省）では耕畜連携の強化、耕種農家のニーズに沿った堆肥生産等が今後の重点推進事項となっております。シンポジウムではこうした中で特にニーズに沿った堆肥生産を中心に話題提供と意見交換を行いました。

<パネラー>

- ①熊本県農業研究センター生産研究所 土壌肥料研究室長 郡司掛 則昭氏
- ②静岡県湖西市 きもと園芸（菊生産農家）（静岡県農業経営士） 木本 忠義氏
- ③栃木県芳賀町 （有）ドンカメ代表 小久保 行雄氏
- ④(財) 日本土壌協会 専務理事 猪股 敏郎氏

<コーディネーター>

千葉県農林総合研究センター精算環境部土壌環境研究室長
土壌保全調査事業全国協議会会長 金子 文宣氏

平成 19 年 11 月 30 日 現地視察研修会

《神奈川県下の優良事例農家等視察》

・視察先

- ◆横浜市都築区「東方軟弱野菜研究会」（H17年度環境保全型農業奨励賞受賞）
- ◆横須賀市「ながしま農園」（H18年度環境保全型農業農林水産大臣賞受賞）
- ◆神奈川県農業技術センター（三浦）等見学

平成 19 年 8 月 1 日

土づくり推進講演会

- (1) 環境保全型農業について最近の行政の動き
農林水産省 環境保全型農業対策室長 福田 英明氏
- (2) 微量要素の今日の問題点と効用
元農業環境技術研究所（エーザイ生科研（株）研究開発部顧問） 織田 久男氏
- (3) 地力窒素の簡易測定と窒素肥沃度に応じた適正施肥推進
北海道立中央農業試験場環境保全部 主任研究員 中津 智史氏
- (4) 土づくり、リサイクル現地優良事例
「長野県阿智村の耕畜連携による有機の里づくりの取組み」
阿智村営農支援センター 長谷川 恵一氏

平成 18 年 11 月 土づくりシンポジウム

テーマ 『環境保全型農業における最近の技術的課題と今後の対応』

環境保全型農業に関しては相当程度のまとまりをもって、化学肥料や農薬を原則 5 割以上低減する等の取組に対し交付金を助成する等新たな施策が展開されます。

その中で環境負荷低減の面で土壌管理、施肥管理のあり方も重要な課題で、これまで施肥基準の見直し等を行い、現地への普及を図っております。

こうした中で、最近の主な作物における技術的な知見とともに、環境保全型農業技術を現地に適応させていく場合の課題と対応策について話題提供を基に検討しました。

(パネラー)

金澤 健二氏 (農林水産省環境保全型農業対策室 課長補佐)

高橋 好範氏 (岩手県中央農業改良普及センター (県域担当) 上席改良普及員)

江畑 正徳氏 (宮城県登米地方振興事務所農業振興部 登米農業改良普及センター 技術次長)

佐藤 幸治氏 (J A みやぎ登米稲作部会連絡協議会 委員長)

(平成 17 年度日本農業賞集団の部大賞受賞)

新井えり子氏 (埼玉県大里農林振興センター地域普及部 西部地区担当部長)

松元 順氏 (鹿児島県農業開発総合センター生産環境部 土壌環境研究室長)

(コーディネーター)

日高 伸氏 (埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所 副研究所長)

(土壌保全調査事業全国協議会会長)

平成 18 年 12 月 現地視察研修会

・視察先

◆埼玉県寄居町 「彩の国資源循環工場」

(食品残渣コンポスト施設((株)アイルクリーンテック、下水汚泥等コンポスト施設 (よりのコンポスト(株)の両コンポスト施設を見学。)

◆埼玉県深谷市 「(有)沃土会」

(H17 年度環境保全型農業推進コンクール農林水産大臣賞受賞)

◆埼玉県深谷市 施設ユリ栽培農家

(H17 年度埼玉県農林業知事表彰農家)

平成 18 年 7 月 土づくり推進講演会

- (1) 環境保全型農業について最近の行政の動き
農林水産省 環境保全型農業対策室長 栗原 眞 氏

- (2) 土壌改良資材についての最近の動き
全国土壌改良資材協議会会長((株)富士見工業社長) 山本 正信 氏

- (3) 土づくり、リサイクル現地優良事例
 - ① 「山形県真室川町の耕畜連携による特別栽培米等への取組」
(JA 真室川町営農販売課 営農販売係長 佐藤利行氏)
(H17 年度 中央畜産会資源循環型畜産モデル事例選定)
 - ② 「土づくり等による高収量、低コスト大豆生産への取組」
(栃木県 那須塩原市 水田作農家 市村和則氏)
(平成 16 年度 全国豆類経営改善共励会農林水産大臣賞受賞)

- (4) 最近の技術成果
「水田転換畑麦作の安定生産」
(中央農業総合研究センター 関東東海水田輪作研究チーム長 渡邊 好昭氏)

平成 17 年 11 月 土づくりシンポジウム

テーマ『最近の土壌が抱える問題とその改善対策』

近年、大型農業機械による踏圧による作土層の浅層化など土壌の物理性の悪化、野菜等を中心として過剰施肥による塩基バランスの崩れ等による生理障害など農作物の収量、品質への影響や環境への影響の問題が起きてきております。

こうした土壌環境の変化に対して土壌診断を行います。診断結果を基にどのようにフォローすればよいか悩んでいるところも多いかと思えます。

こうしたことから、現地におけるこれまでの対応事例、研究成果を基に対策について発表を下に検討しました。

(パネラー)

小野 忠氏 (大分県野菜茶業研究所 普及企画班長)

佐藤 一弘氏 (埼玉県農林総合研究センター 生産環境担当 専門研究員)

野口 勝憲氏 (片倉チッカリン(株) 肥料本部 副本部長)

金峰 浩氏 (日東エフシー(株) 技術普及部技術普及課 課長代理)

(コーディネーター)

猪股 敏郎氏 ((財)日本土壌協会 専務理事)

平成 17 年 11 月 現地視察研修会

・視察先

◆茨城県つくば市谷田部農業協同組合青壮年部産直部会

(平成 12 年度環境保全型農業推進コンクール全中会長賞)

◆茨城県北つくば農業協同組合 結城市園芸部会レタス部会

(平成 15 年度環境保全型農業推進コンクール農林水産大臣賞)

平成 17 年 7 月 土づくり推進講演会

(1) 環境保全型農業を巡る行政動向

農林水産省 環境保全型農業対策室長 天野 雅猛 氏

(2) 地現優良事例

① 「全村あげての資源循環型農業の推進」

長野県高山村産業振興課長 黒岩 悟 氏

(H16 年度環境保全型農業農林水産大臣賞受賞)

② 「耕畜連携体制の整備とたい肥利用農産物生産の推進」

山梨県北杜市 農事組合法人長坂ファーム組合代表理事 坂本 敬新 氏

(3) 現地の技術的課題と対応

「水田転換畑の土壌の種類に応じた大豆の安定生産」

中央農業総合研究センター 関東東海総合研究部長 有原 丈二 氏

平成 16 年 12 月 土づくりシンポジウム

テーマ『土壌診断による資材の適正利用と農作物生産』

土壌診断は、作物の安定生産、品質向上や環境に配慮した施肥の推進などにとって重要な手法です。今後、土壌診断結果がどのようにしたらより営農場面において有効に活用していけるのかについて、営農指導を行う立場の方、資材の販売とその指導を行う立場の方、診断結果を活用する農家の方からの発表をもとに検討しました。

(パネラー)

内田 重夫氏 (千葉農林振興センター 振興普及部上席改良普及員)

福島 大輔氏 (神奈川県三浦市農業協同組合 営農部部長補佐)

藤江 秀行氏 ((株) 豊田肥料 植物科学技術研究所 開発普及部長)

佐々木 陽悦氏 (宮城県水稲、野菜農家 (エコファーマー))

(コーディネーター)

安西 徹郎氏 (千葉県農業総合研究センター 土壌環境研究室長)

平成 16 年 12 月 現地視察研修会

・視察先

① 農事組合法人 和郷園

(和郷園のメンバー農家の圃場、農産物残渣等の堆肥化施設、冷凍工場見学)

② 風土村 (和郷園等の農産物直売所、レストランなど)

③ 干潟町発酵飼料用稲の取組 現地見学